

令和2年産

大崎稲作情報 第4-2号

令和2年7月21日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

今後の管理のポイント

- ✓ いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう

1. 生育概況（7月20日現在）

草丈と茎数は平年並～やや上回りましたが、生育がやや停滞したため、葉数が平年よりやや少なく、葉色は濃い傾向となりました。

幼穂長より、生育ステージは以下の見込みとなります。

- だて正夢：減数分裂期（幼穂長30～120mm）
- ひとめぼれ（大崎市三本木）、金のいぶき：数日で減数分裂期に達する
- みやこがねもち：幼穂形成期（幼穂長1～2mm）

表1 生育調査結果

品種名	地区名	田植・播種月日	草丈(cm) (平年比)	茎数(本/㎡) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	葉色(SPAD) (平年差)	幼穂長(mm) (平年差)
ひとめぼれ	大崎市三本木	5月4日	77.5 (105%)	517 (104%)	11.3 (-0.4)	38.5 (+3.0)	27.1 (-39.9)
ひとめぼれ	加美町小野田	5月17日	73.2 (107%)	516 (99%)	10.6 (-1.3)	42.6 (+4.9)	12.6 (-10.7)
ササニシキ	大崎市古川	5月11日	79.3 (110%)	620 (105%)	12.9 (+0.8)	41.8 (+6.5)	8.9 (-30.7)
つや姫	色麻町四竈	5月4日	70.3 (-)	522 (-)	11.2 (-)	41.6 (-)	6.3 (-)
だて正夢	大崎市三本木	5月3日	73.0 (-)	348 (-)	12.3 (-)	36.7 (-)	68.7 (-)
金のいぶき	大崎市三本木	5月7日	74.1 (-)	533 (-)	12.9 (-)	34.3 (-)	28.7 (-)
まなむすめ	加美町宮崎	5月18日	70.5 (103%)	467 (95%)	11.7 (±0.0)	37.3 (+2.9)	21.7 (-15.8)
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	5月24日	65.0 (-)	368 (-)	10.3 (-)	40.5 (-)	19.5 (-)
みやこがねもち	大崎市岩出山	5月18日	69.4 (105%)	548 (104%)	11.4 (-0.8)	35.8 (+4.2)	1.2 (-5.3)
ひとめぼれ (湛水直播)	加美町米泉	5月4日	65.6 (-)	463 (-)	9.5 (-)	38.3 (-)	0.0 (-)
県全体			70.6 (100%)	509 (97%)	11.7 (-0.3)	38.1 (+3.0)	26.2 (-32.7)

※平年比・差は前5か年（平成27年～令和元年）の平均値との比較

県全体はひとめぼれ、ササニシキの生育調査ほ31地点の平均値

2. いもち病防除 発生しやすい条件が続いています

7月10日以降、葉いもちの感染好適日が連日出現しています（表2）。現在、病斑が見られなくても今後発生する恐れがあります。

表2 アメダス資料による葉いもちの感染好適条件の出現状況

日付	駒ノ湯	気仙沼	川渡	築館	米山	志津川	古川	桃生	大衡	鹿島台	東松島	石巻	女川	新川	塩釜	江ノ島	仙台	名取	白石	蔵王	亘理	丸森	
7/10	—	—	—	—	—	—	—	—	●	●	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/11	—	●	—	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	—	●	●	—	—	—	—	—	●	●
7/12	●	●	—	—	●	△	△	●	●	●	●	—	●	●	●	●	—	—	●	●	—	—	—
7/13	△	△	△	●	△	●	△	●	△	△	●	—	●	—	●	—	△	—	—	—	△	●	●
7/14	○	—	●	—	—	—	—	—	△	—	—	—	—	●	△	—	—	—	—	—	—	—	△
7/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	○	△	●

●	好適条件	葉いもちの大量感染に好適な気象条件(葉面湿潤時間10時間以上, 平均気温15~25℃, 前5日間の平均気温20~25℃)が出現した日
○	準好適条件1	当日の条件は満たしているが, 前5日間の平均気温が条件からはずれている場合
△	準好適条件2	葉面湿潤時間の長さのみ好適条件を満たしている場合
—	好適条件なし	

※ 宮城県病害虫防除所「防除情報第3号」参照

◇ 葉いもちの病勢が旺盛となる条件

- ✓ 平均気温19~25℃
- ✓ 降雨日数が多く, 多湿
- ✓ 夜間の風が弱く, 朝露の乾きが遅い
- ✓ 窒素過剰により稲が軟弱気味で, 葉色が濃い

◇ 防除のポイント

上位葉の葉いもちは, 穂いもちの発生源になります。ほ場を入念に見回り, 病斑を確認した場合は直ちに防除を実施してください。

特に, 追肥後は一時的に稲体の窒素濃度が高まり, いもち病菌に対する侵入, 進展抵抗力が低下するので, 薬剤散布を併せて行うなど注意してください。

また, いもち病の常発地, 葉いもちの予防剤を施用していないほ場, 生育が遅いほ場や葉色が極端に濃いほ場も発生に注意してください。

穂いもちの予防防除を実施した場合でも, ほ場を入念に見回り, 葉いもちの発生を確認した場合は, 直ちに茎葉散布剤による防除を実施してください。

穂いもちは, 出穂直後が最も感染しやすいので, 適期を逃さないよう防除してください。なお, 県内の中生品種の出穂期は8月2日頃と予想されています。

引き続き、追肥・水管理・病害虫(紋枯病, 斑点米カメムシ類等)防除を徹底しましょう。
今後の管理は「大崎稲作情報第4号 (R2.7.14 発行) を参照願います

東北地方 1 か月予報

(7月18日から8月17日までの天候見通し)

令和2年7月16日

仙台管区气象台 発表※抜粋

<予想される向こう1か月の天候>

期間の前半は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

期間の後半は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の日照時間は少ない確率50%です。

週別の気温は、1週目は平年並または低い確率ともに40%です。2週目は平年並または低い確率ともに40%です。3~4週目は平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北太平洋側	30	40	30
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北太平洋側	50	30	20

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北太平洋側	40	40	20
2週目	東北太平洋側	40	40	20
3~4週目	東北地方	20	40	40

◆◆◆◆◆ 農薬危害防止運動実施中(6月1日~8月31日) ◆◆◆◆◆

農薬を使用する前には、必ず使用可能な作物名等ラベルなどで確認し、使用時期、使用方法、使用量を守って適正に使用しましょう。

※ 最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターホームページで確認できます。

HP<<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html>>